
全国 1000 人に対する 異常気象と気候変動、石炭火力発電に関する意識調査

温暖化の影響との関連、脅威を感じる人 80%以上

国際環境 NGO グリーンピース・ジャパンは、西日本豪雨や最高気温の更新と猛暑など、この夏の日本の気象と地球温暖化との関連、また地球温暖化の主要な原因である石炭火力発電について国内 1000 人を対象に、意識調査を行いました(注)。

今回の調査では、8 割を超える人が、この夏の日本の気象に脅威を感じ、それを長期的な地球温暖化の傾向と関連付けて受け止めていました。火力発電のうち、石炭火力発電は地球温暖化の原因となる CO₂ を最も多く排出しますが、そのことを知っているとした人は約半数いた一方、国内ではすでに多くの石炭火力発電所が稼働し、さらに推進の傾向にあることについては、8 割以上の人が認識していませんでした。

異常気象や地球温暖化に危機感を抱く一方、その対策として重要な石炭火力発電の削減とはほど遠い日本の現状に対する認知度が非常に低く、大きなギャップがあることが浮き彫りになりました。

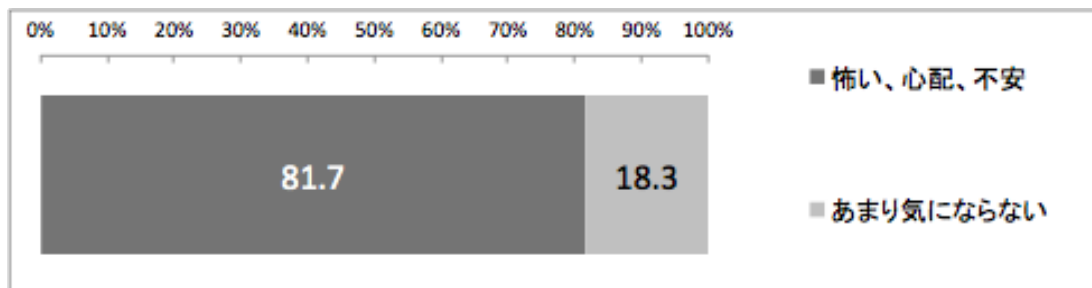
【調査結果サマリー】

- 西日本豪雨や最高気温の更新と猛暑など、この夏の日本の気象に、8 割を超える人が脅威を感じている
- 長期的な地球温暖化による傾向と関係していると思う人は 84%にのぼった
- 火力発電のうちもっとも CO₂ を排出するのが石炭火力であることは約半数の人が知っていた
- 他方、国内で多くの石炭火力発電所が稼働していることや、35 基の新設計画についての認識は 10-15%にとどまった
- 電力供給に問題がないなら石炭火力発電所の新設はやめてほしいという人が、最多の 50%を占めた
- 日本以外の G7 諸国や金融機関で石炭への依存を控える傾向が加速していることは、4 人に 1 人しか知らなかった

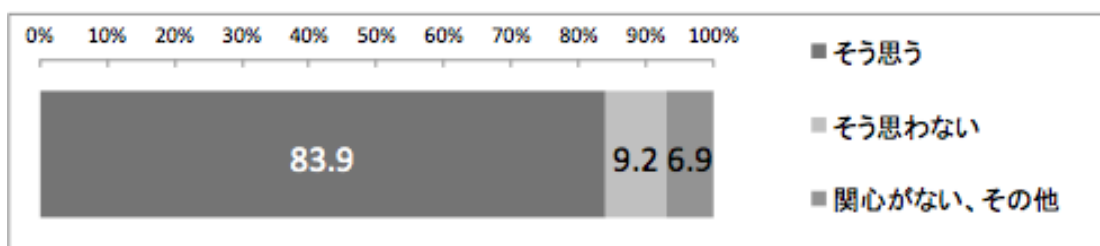
注)国内在住の 1000 人を対象に 18~79 歳で 10 代刻みの男女の人口構成比に合わせてオンラインで実施・回収。回答者はすべての都道府県に分布。調査期間は 2018 年 8 月 8 日~10 日。グリーンピース・ジャパンが楽天インサイト株式会社に委託して実施。

【質問と回答結果】

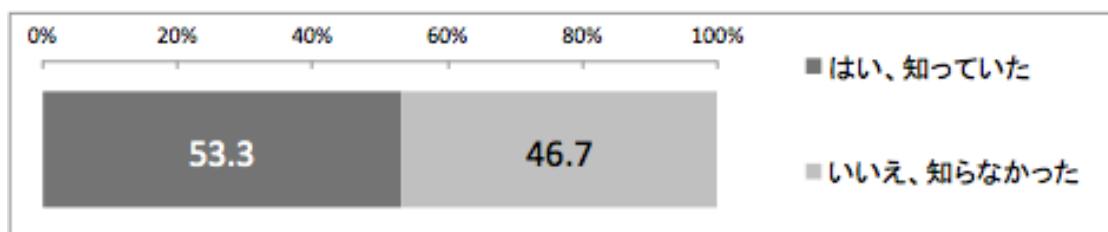
Q1.西日本豪雨や最高気温の更新と猛暑など、この夏の日本の気象についてどのように感じていますか。お気持ちに近い方をお選びください。



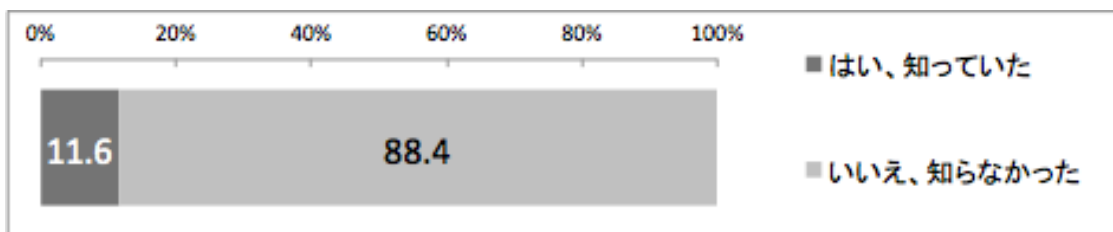
Q2.世界気象機関による分析でも、世界的に猛暑や豪雨は気候変動の結果増加しており、長期的な地球温暖化による傾向と関係しているという見解が示されています。あなたはどのように感じますか。



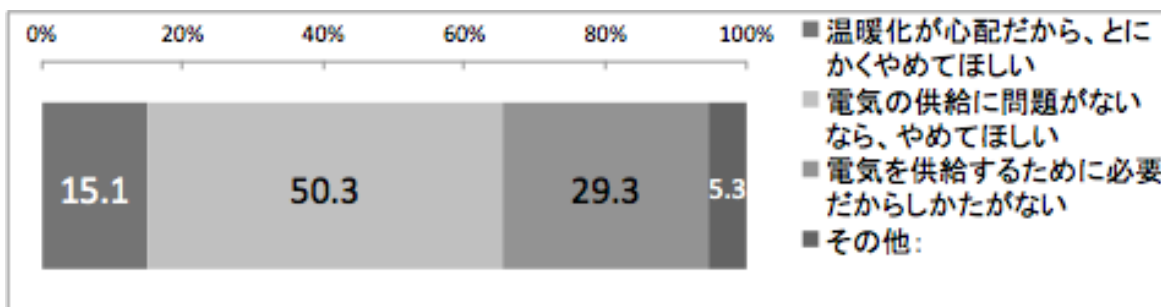
Q3.温暖化・気候変動は、大気中の二酸化炭素などの温室効果ガスが増えることが原因とされています。日本でもっとも温室効果ガスを排出しているのは発電部門で、なかでも石炭火力発電所からの温室効果ガス排出がもっとも多いと知っていますか。



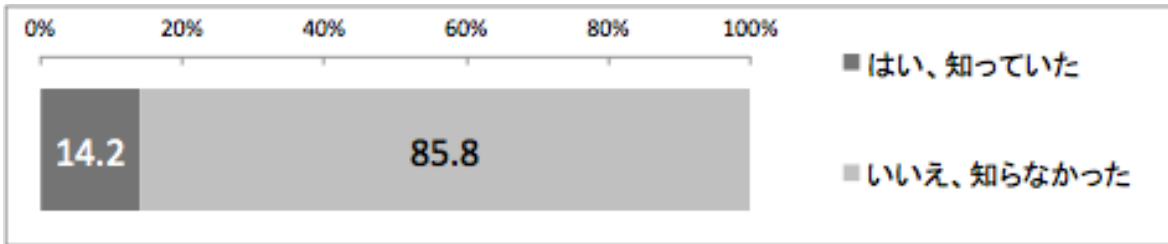
Q4.現在、以下の場所に合計 35 基の石炭火力発電所の新設が進められていることを知っていますか。



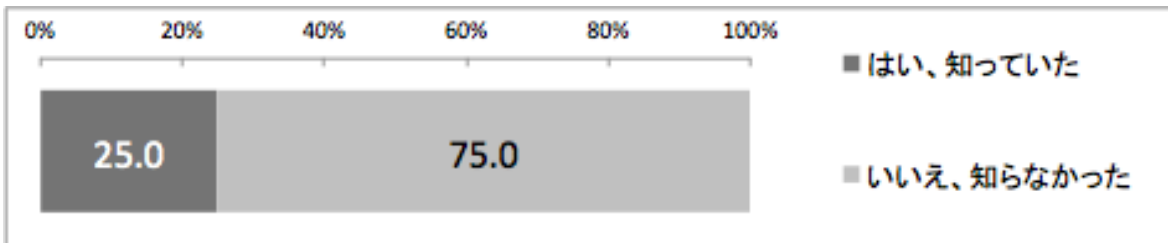
Q5.これら 35 基の石炭火力発電所がこれから新設されることについて、あなたの考えにもっとも合うものはどれですか。



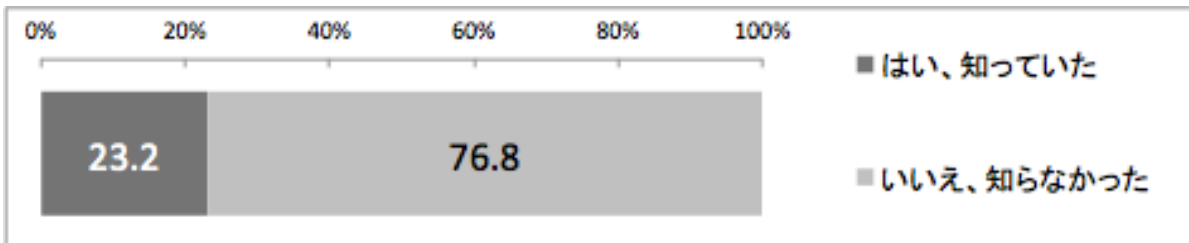
Q6.これら 35 基以外に、日本では現在 100 基以上の石炭火力発電所が稼働していることを知っていますか。



Q7.石炭火力発電所は、たとえ最先端の最新型でも、もっとも多くの温室効果ガスを排出する発電方法に変わりありません。あなたはこのことを知っていましたか。



Q8.日本は G7 諸国で唯一いまも積極的に石炭火力発電を推進している国ですが、他の各国や世界の主要な金融機関の間では、石炭火力の利用推進を控える動きが加速しています。あなたはこのことを知っていましたか。



【回答者の年代】

